



海陽町



美馬市

とくしまの魅力を伝える



美馬市



阿南市



美馬市



徳島市



阿波市

とくしまの魅力と実力

「災害時」と「平時」リバーシブルに活用

令和5年9月にオープンした東部防災館おきのすインドアパークは、災害時には防災拠点、平時にはにぎわい拠点として機能します。様々なスポーツ施設やイベントスペースなどを備えるとともに、屋上ヘリポートなどは災害時の物資輸送拠点として運用されます。



おきのすインドアパーク

農林水産物の国内外への販路拡大

拡大する世界の食市場をターゲットに、県産品の生産・流通体制の整備を促進するとともに、県内事業者の販路開拓や海外進出の取組をサポートする官民一体のワンストップ組織「(公社)徳島県産業国際化支援機構」と連携し、国内外でプロモーションや展示会などを行っています。



(公社)徳島県
産業国際化支援機構



海外での県産品PRフェア

徳島ならではの公共交通ネットワーク

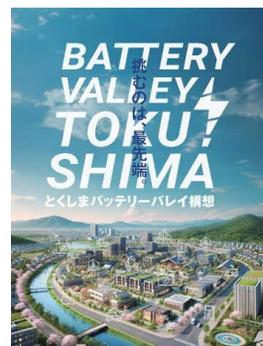
県南部の阿佐東線では、マイクロバスをベースに改造し、鉄車輪を装備した道路と線路の両方を自在に走行するDMV（デュアル・モード・ビークル）の世界初の営業運行を行っています。バスと鉄道がシームレスになり、地域の公共交通ネットワークがより便利により効率的にチェンジし、交通の未来を乗せて地域を駆け抜けます。



DMV

徳島バッテリーバレイ構想の推進

蓄電池材料メーカーや蓄電池メーカーが立地し、全国トップクラスの製造品出荷額を誇る地の利を活かし、蓄電池関連産業を徳島県の新たな産業の柱として確立していくための「産業戦略」を推進しています。



特色と魅力ある教育環境

「誰一人取り残されない教育」を目指す全国初の県立夜間中学校である「徳島県立しらさぎ中学校」や、地方と都市双方で教育を受けることができる「デュアルスクール」、平日だからこそできる学校外での学び「ラーケーションの日」など、多様な学びの環境が整っています。



「ラーケーションの日」
ポータルサイト



ラーケーションの活動
(県民のみなさんより)

救急医療体制の充実

令和5年5月にオープンした県立中央病院 南館（ER棟）は、救急・感染症外来をはじめ、発災時には災害対策本部などの役割を担うほか、5G通信環境を活用した先進的な遠隔医療による地域医療支援機能など、複合的な機能を備えています。



県立中央病院南館（ER棟）

詳しくはこちら

・徳島県ホームページ

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/>



・徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」

<https://www.awanavi.jp/>



まだまだあるとくしまの魅力と実力！

文化



長年の伝統が息づく阿波おどりや阿波人形浄瑠璃、さらに、ベートーヴェン「第九」アジア初演など、優れた文化・歴史があります。

400年以上の歴史
阿波おどり

スポーツ



全国有数の**サーフポイント**

サッカー、野球、バスケットボールの地元プロスポーツをはじめ、とくしまマラソンやサーフィン、サイクリングなど、「観て」「参加して」「楽しめる」スポーツが盛りだくさんです。

自然

世界三大潮流にも数えられている鳴門の渦潮、日本三大秘境「祖谷」や約8kmにわたる渓谷「大歩危小歩危」、日本百名山のひとつ「剣山」、南部沿岸部の千年サンゴなど、豊かな自然環境に恵まれています。



迫力満点！**鳴門の渦潮**



四季折々の美しさ
祖谷のかずら橋

阿波藍



美しい藍色を染め出す天然藍染料「阿波藍」は、江戸時代からずっと日本の藍染め「ジャパンプルー」を支えてきました。かつて阿波藍がもたらした豊かさが多彩な「あわ文化」を育んだと言われており、今国内の天然藍染料の大半が徳島で製造されています。

令和元年5月20日には、阿波藍の歴史・文化的なストーリーが日本遺産に認定されました。

徳島県議会においても、議員提案により「とくしま藍の日及び徳島県の色を定める条例」を制定し、7月24日を「とくしま藍の日」、7月を「とくしま藍推進月間」、藍色を「徳島県の色」と定めることにより、藍に対する関心と理解を深め、藍に関する文化の継承と産業振興を図り、国内外に藍の魅力を発信していきます。

2025年 大阪・関西万博 開催

徳島の多彩な魅力を、
ここから世界へ



伝統エリア

いのちに祈る

阿波和紙や阿波藍、阿波指物などの伝統工芸を展示。徳島の文化を支えてきた技と精神に触れることができます。



現在エリア

いのちの流れ

プロジェクションマッピングを展開。豊かな自然や阿波おどりなど徳島のさまざまな魅力を体感できるエリアです。



未来エリア

いのちは巡る

“サステナブルな徳島の未来”をテーマに県民が制作にかかわった徳島の文化・生活・精神・自然を感じられる作品を展示しています。



県 勢 概 要

面積：4,147.00km² (R6. 10. 1)
人口：685,357人 (R6. 10. 1)
県庁所在地：徳島市 (人口245,349人 (R6. 10. 1))
市町村数：8市15町1村
県の木：やまもも 県の鳥：しらさぎ

県の花：すだちの花
県の色：藍色
最も高い山：剣山 (標高1,955m＝四国2位)
最も大きい川：吉野川 (長さ194km＝四国2位、流域面積3,750km²＝四国1位)



時代に即応した議会を目指して “議会改革”推進中

徳島県議会は、「議会は自治体の最高責任者である」との認識の下、県民の負託に全力で応え、これまで進めてきた様々な議会改革の取り組みを後戻りさせることなく、継続して取り組むため、重点的に取り組むべき方策やその具体的な数値目標を定めた「議会改革行動計画」を策定し、同計画の趣旨に沿って各種施策を実施しています。

議会改革行動計画 第4期〔計画期間：令和5年度～令和8年度〕における主な取組

▶誰もが政治参加しやすい環境づくり

女性、若者、子育て世代など、多様な人材の政治参加を促進するため、誰もが議会活動に参画しやすい環境を整備するとともに、議会を身近に感じてもらえる取組を推進することとした。

- ハラスメント防止研修の実施（令和5年度から実施）
- ハラスメント相談窓口の設置（令和5年10月10日設置）
- 議員の旧姓使用の明文化（令和5年9月4日施行）
- 託児サービスの実施（令和6年6月定例会から開始）
- 県民と議員の意見交換会の実施（令和5年度から実施）
- 中学生県議会セミナー（議員出前授業）の実施（令和6年度から実施）
- 県議会ホームページの充実（令和5年度から随時実施）
- 「県議会だより」のリニューアル（令和6年6月定例会号から実施）

▶議会DXのさらなる推進

自然災害の発災時や感染症まん延時の緊急時などにおいても、円滑に議会を運営するため、ICTの積極的な活用により、さらなる議会DXを推進することとした。

- オンライン委員会の導入（令和6年11月定例会整備）
- オンライン視察・勉強会の実施

▶その他の取組

- 議会日程の実績公開（令和5年度分からホームページに掲載）
- 議会インターネット中継（録画配信）における本会議質問項目の掲載（令和5年6月定例会から掲載）

議会改革行動計画 第3期〔～令和4年度〕までに実施した主な取組

▶議会機能の強化

- 議会基本条例の制定
- ペーパーレス会議システムの導入
- 大学との包括連携協定締結及び事業の実施
- 政務活動費の適正な執行と透明性の確保
- 議員提案政策条例の制定及び検証
- 議会BCPの策定
- 情報通信環境及びタブレット端末の整備
- 県行政に係る基本計画議決条例の制定

▶効果的な議会運営

- 議案、委員会記録及び資料、各議員の議案・請願に対する表決態度（賛否状況）のホームページ公表
- 決算認定審査の見直し（議案の早期議決）
- 委員会の県内視察における各種団体等との意見交換会の開催
- 議会の年間日程の作成・公表
- 質問要旨の通告及びホームページ前日掲載

▶開かれた議会

- 正副議長の定例記者会見
- 議会活動展示パネルの設置
- 高校生と県議会議員との意見交換会の実施
- 夏休み中学生県議会体験会、
県議会小学生社会見学ツアー、議会見学会の実施
- 徳島県議会表彰の実施
- 議会コンサート、書道パフォーマンスの開催
- 点字版議会だよりの発行
- 広報動画の作成
- パーキングパーミット制度を利用した駐車場の整備



ペーパーレス会議システムの導入



書道パフォーマンス

表紙写真：第2回徳島県議会高校生フォトコンテスト入賞作品

題字：四国大学文学部書道文化学科学生作品（大学との包括連携協定に基づく事業による）

◆徳島県議会の最新情報はこちら！ <https://www.pref.tokushima.lg.jp/gikai/>

